

Kashiko Kawakita and the "Friends of Cinema"  
Fifty Years of Équipe de Cinéma

企画展

# 川喜多かしこと“映画の仲間”

## エキブ・ド・シネマの半世紀



Équipe de Cinéma

1974年2月、エキブ・ド・シネマ発足時の川喜多かしこ(左)と高野悦子(右)

企画展観覧料  
一般 200(140)円 / 小・中学生 100(70)円  
※( )内は20名以上の団体料金

2024年 7.13(土) → 9.29(日)

鎌倉市川喜多映画記念館



『アレクサンダー大王』(1980年) 日本公開版ポスター



『エミタイ』(1971年) 日本公開版ポスター



『ピロスmani』(1969年) 日本公開版ポスター

# 川喜多かしこと“映画の仲間” エキブ・ド・シネマの半世紀

2024年 7.13(土)→9.29(日)

1974年2月12日、サタジツ・レイ監督のインド映画『大樹のうた』(1959年)の上映をきっかけに発足した〈エキブ・ド・シネマ〉は、主宰者である川喜多かしこと高野悦子のふたりの活動から、映画を愛する仲間たちが次第に集い、やがて大きな上映運動へと発展していきました。フランス語で“映画の仲間”を意味する〈Équipe de Cinéma〉は、「世界の埋もれた名画を発掘・上映する運動」としてスタートし、岩波ホールを拠点として、約半世紀のあいだ日本における映画文化の根幹を担ってきました。その精神は、川喜多かしこと高野悦子が亡くなり、岩波ホールが閉館したあとも、その薫陶を受けた多くの者たちによって継承されています。

本企画展では、単館ロードショーやミニシアターの先駆けとなった〈エキブ・ド・シネマ〉の足跡を回顧し、半世紀にわたり世界各地から集めた名作の数々を紹介します。

## エキブ・ド・シネマ 〈Équipe de Cinéma〉の活動とは

- 1 アジア・アフリカ・ラテンアメリカなど  
日本では上映機会の少ない地域の映画の紹介
- 2 欧米の映画でも大手興行会社に取り上げない名作の上映
- 3 未公開あるいは不完全な形で公開された、映画史上の名作の上映
- 4 日本映画の名作を世に出す手伝い

4つの目標を掲げてスタートしたエキブ運動は、これまでの映画興行にはみられなかった日本初となる試みを幾つも行いました。2022年7月29日の岩波ホール閉館まで、エキブ・ド・シネマは66の国と地域、274作品を上映しました。

## トークイベント

2024年8月10日(土) 14:00

### 「高野悦子さんの面影」

ゲスト: 石井淑子 さん (元・岩波ホール)  
はらだたけひで さん (絵本作家/ジョージア映画祭主宰)

1968年の岩波ホール創立と同時に総支配人に就任し、74年からは川喜多かしことともにエキブ・ド・シネマを主宰、2013年に逝去されるまで映画上映運動に尽力した高野悦子さん。初期の活動から岩波ホールのスタッフとして高野さんとともに歩み、長らく秘書を務められた石井淑子さんと、同じく岩波ホールで企画広報を担当し、『ピロスmani』をはじめとするジョージアの映画と文化に魅せられ、閉館後もジョージア映画祭を主宰されているはらだたけひでさんにお越しいただき、エキブ・ド・シネマの活動と高野さんとの思い出を語っていただきます。

料金: 一般1000円、小・中学生500円  
チケット発売日: 7月13日(土)

## 特別上映

2024年9月7日(土) 13:30

### 『伽倻子のために』 ＋トークイベント

ゲスト: 小栗康平 さん (映画監督)

デビュー作『泥の河』を公開前にひとめで気に入る、〈『泥の河』をほめる会〉を組織し、小栗康平監督のサポートをしてきた川喜多かしこと高野悦子。『伽倻子のために』をエキブで、という監督の申し出を即座に承諾し、96年公開の『眠る男』は岩波ホールで約半年間にわたるロングランヒットとなりました。小栗監督をお招きし、上映後にお話を伺います。

料金: 一般1600円、小・中学生800円  
チケット発売日: 8月10日(土)



# 企画展関連上映

\* 作品により映像・音声が必要しも良好でないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご承知ください。

**1 宋家の三姉妹**  
7.25(日)・27(火) 10:30  
7.23(日)・24(月)・26(水)・28(金) 14:00



© 1987 MORE TEAM INTERNATIONAL  
1997年/香港=日本/カラー/145分/DCP  
監督:メイベル・チャン  
出演:マギー・チャン、ミシェル・ヨー、ヴィヴィアン・ウー、チアン・ウェン

辛亥革命、西安事件、日中戦争…激動の時代を生きた宋家の三姉妹の物語は、岩波ホールで歴代一位のロングランとなり、314日間上映された。『乱』(黒澤明)でアカデミー賞を受賞したワダエミ氏が、4000点を超える絢爛な衣裳のデザインを手がけた。

**2 ハンナ・アーレント**  
7.26(金)・28(日) 10:30  
7.25(日)・27(火) 14:00



© 2012 Helmuttill GmbH & Co. KG, Amsterdamer Filmproduktions-Gesellschaft mbH, Luxembourg, s.a. All Rights Reserved.  
2012年/ドイツ=ルクセンブルク=フランス/カラー・白黒/114分/DCP  
監督:マルガレテ・フォン・トロッタ 出演:バルバラ・スコヴァ、アクセル・ミルベルク、ジャンネット・マクティア

女性革命家を描いた『ローザ・ルクセンブルク』の監督・主演コンビが手がけた本作は、ユダヤ人政治哲学者ハンナ・アーレントの物語。ともにエキブ作品として日本に紹介され、彼女の勇姿と人間的側面の両方を描いて高い評価を得た。

**3 ルートヴィヒ**  
8.7(日)・11(木) 10:30  
8.6(日)・8(月)・9(火) 13:00 ※途中休憩あり



© Licensed by COMPASS FILM SRL - Roma - Italy. All Rights reserved.  
1972年/イタリア=西ドイツ=フランス/カラー/237分/DCP  
監督:ルキノ・ヴィスコンティ 出演:ヘルムート・バーガー、ロミー・シュナイダー、トレヴァー・ハワード

19世紀のバイエルン王、ルートヴィヒ2世の即位から謎の死を遂げるまでの波乱の生涯を描いた歴史大作。日本におけるヴィスコンティ監督作品の人気再燃は、エキブでの評判からだった。78年の『家族の肖像』に始まり、本作も80年に初公開。

**4 少女は夜明けに夢をみる**  
8.8(日)・9(月)・10(火) 10:30  
8.7(日)・11(木) 15:30



© Oskoui Film Production  
2016年/イラン/カラー/76分/DCP  
監督:メヘルダド・オスコウイ 撮影:モハメド・ハダディ 編集:アミール・アディバルバル 音楽:アフシン・アジジ

強盗、殺人、薬物、売春などの罪で更生施設に収容されたイランの少女たち。長い時間をかけ彼女たちとの信頼関係を築き上げたオスコウイ監督が、インタビューを通して(声なき者たち)の過酷な境遇や繊細な内面をつづさに映し出していく。

**5 惑星ソラリス**  
8.24(日)・25(月) 10:00  
8.20(日)・21(月) 14:00



© 1972年/ソ連/カラー・白黒/160分/DCP  
監督:アンドレイ・タルコフスキー  
出演:ナタリア・ボンダルチュク、ドナータス・パニオニス、ユーリー・ヤルヴェト、アナトリー・ソロニン

ポーランドのSF作家スタニスワフ・レムの小説『ソラリスの陽のもとに』を、鬼才タルコフスキーが独自の美学で映画化。未知の生命体と遭遇し、極限状態に置かれた人間の意識や心理状態を描き、カンヌ国際映画祭の審査員特別賞を受賞した。

**6 ニューヨーク公共図書館**  
エクス・リプリス  
8.22(日)・23(月)・24(火)・25(水) 13:30  
※途中休憩あり



© 2017 EX LIBRIS Films LLC - All Rights Reserved.  
2017年/アメリカ/カラー/205分/DCP  
監督:フレデリック・ワイズマン  
出演:エルビス・コストロ、パティ・スミス、リチャード・ドーキンス、タナハシ・コウツ

ナレーションやBGMを排し、映像に語らせる手法で知られる名匠ワイズマンが、ニューヨーク公共図書館の舞台裏から、その全貌をとらえたドキュメンタリー。司書やボランティアなどの活動を通して、市民に開かれた図書館の幅広い役割とそれを支える理念に迫る。

**7 伽椰子のために**  
9.4(日)・6(月)・8(水) 10:30  
9.3(日)・5(月) 14:00 9.7(日) [特別上映] 13:30



© 劇団ひまわり映画制作事務所  
1984年/日本/カラー/117分/DCP  
監督:小栗康平  
出演:奥昇一、南果歩、浜村純、園佳也子、古尾谷雅人、殿山泰司、蟹江敬三

在日朝鮮人作家、李恢成(りかいせい)の同名小説を原作に、在日する韓国・朝鮮人青年と日本人少女との愛と別れを、慈しみをこめて描いている。『泥の河』でデビューした小栗康平監督の第二作で、日本人初となるフランスのジョルジュ・サドゥール賞を受賞した。

**8 眠る男**  
9.3(日)・5(月)・7(水) 10:30  
9.4(日)・6(月)・8(水) 14:00



© 群馬県「眠る男」製作委員会  
1996年/日本/カラー/103分/DCP  
監督:小栗康平  
出演:役所広司、アン・ソング、クリスティン・ハキム、野村昭子、小日向文世、八木昌子

群馬県が人口200万人突破を記念し、劇映画を製作。行政が全額出資するという前例のない取り組みだった。小栗監督初のオリジナル脚本で、動かす何もしない(眠る男)を主人公に据えた。美しい自然と風土の中、人々の暮らしが静かに描かれる。

**9 大樹のうた**  
9.22(日) 10:30  
9.16(日)・20(金)・21(土) 14:00



© 1959年/インド/白黒/98分/DVD  
監督:サジット・レイ  
出演:ショウミットロ・チャタージ、シャルミラ・タゴール、アロク・チャクラバルティ

『大地のうた』『大河のうた』に続く「オプー三部作」の完結篇。作家志望の青年オプーの物語。本作の上映場所を探していた川喜多かしこが、高野悦子に相談したことから(エキブ・シネマ)が発足。記念すべき第一回上映作品となった。

**10 歩いて見た世界**  
ブルース・チャトウィンの足跡  
9.16(日)・20(金)・21(土) 10:30  
9.18(日)・19(月)・22(日) 14:00



© SIDEWAYS FILM  
2019年/イギリス=スコットランド=フランス/カラー/85分/DCP  
監督:ヴェルナー・ヘルツォーク 出演:ヴェルナー・ヘルツォーク、ブルース・チャトウィン、エリザベス・チャトウィン、ニコラス・シェクスピア

世界を旅し「バタゴニア」などを著した作家ブルース・チャトウィン。親交のあった巨匠ヘルツォーク(『アギーレ・神の怒り』『フィツカラルド』)が、彼の思索と旅の軌跡を追ったドキュメンタリー。エキブ・シネマ最後の作品となった。

**11 奇跡**  
9.23(日)・27(金) 10:30/14:00  
9.25(日)・26(日) 14:00



© Danish Film Institute  
1954年/デンマーク/白黒/126分/DCP  
監督:カール・テオドア・ドライヤー  
出演:ヘンリック・マルベア、エミール・ハス・クリステンセン、ピアギッテ・フェザースビル

1955年のヴェネチア国際映画祭で金獅子賞に輝いたドライヤーの珠玉の名作。日本ではエキブ作品として79年に上映されるまで長らく未公開のままだった。カイ・ムンクの戯曲『御言葉』を原作に、信仰をめぐる家族の葛藤と(奇跡)を描く。

**12 ピロスマニ**  
9.28(日)・29(月) 10:30/14:00



© 1969年/ジョージア(製作時 ソ連)/カラー/86分/DCP  
監督:ギオルギ・シェンゲラヤ 出演:アフタンディル・ヴァラジ、ダヴィト・アバシゼ、ズラブ・カピアニゼ

ピカソはかつて「ジョージアに私の絵は必要ない。ピロスマニがいるから」と語った。現在はジョージアの紙幣になるほどの国民的画家・ピロスマニ。生前は才能を認められず、孤独と放浪のうちに亡くなった。本作は彼の不遇の生涯を描く。

企画展観覧料	一般 200 円(140円) 小・中学生 100 円(70円)	チケット発売日	7月の上映作品 <b>1</b> ~ <b>2</b> 7月 2 日(日)
映画鑑賞・トークイベント	一般 1000 円 小・中学生 500 円 (展示観覧料含む)	8月の上映作品 <b>3</b> ~ <b>6</b> 7月 13 日(土)	9月の上映作品 <b>7</b> ~ <b>12</b> 8月 10 日(土)
特別上映	一般 1600 円 小・中学生 800 円 (展示観覧料含む)		

\* ( )内は 20 名以上の団体 \* 鎌倉市民(市内に住所を有する方)は展示観覧料が無料です。  
入館の際に住所が確認できる証明書(運転免許証、国民健康保険証等)をご提示ください。  
チケットは記念館窓口でご購入いただけます。当館の友の会会員さまのみ、指定の期間において電話でのご予約が可能です。  
チケット取り扱いお問合せ先 川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500

# 上映スケジュール

7月	関連上映	23 火		14:00 宋家の三姉妹 (145分)	
	川喜多かしこと “映画の仲間” エキブ・ド・シネマの半世紀 チケット発売:7月2日(火)	24 水		14:00 宋家の三姉妹 (145分)	
		25 木	10:30 宋家の三姉妹 (145分)	14:00 ハンナ・アーレント (114分)	
		26 金	10:30 ハンナ・アーレント (114分)	14:00 宋家の三姉妹 (145分)	
		27 土	10:30 宋家の三姉妹 (145分)	14:00 ハンナ・アーレント (114分)	
		28 日	10:30 ハンナ・アーレント (114分)	14:00 宋家の三姉妹 (145分)	
		8月	関連上映	6 火	
川喜多かしこと “映画の仲間” エキブ・ド・シネマの半世紀 チケット発売:7月13日(土)	7 水		10:30 ルートヴィヒ (237分)	15:30 少女は夜明けに夢をみる (76分)	
	8 木		10:30 少女は夜明けに夢をみる (76分)	13:00 ルートヴィヒ (237分)	
	9 金		10:30 少女は夜明けに夢をみる (76分)	13:00 ルートヴィヒ (237分)	
	10 土		10:30 少女は夜明けに夢をみる (76分)	14:00 トークイベント「高野悦子さんの面影」 *2	
	11 日・祝		10:30 ルートヴィヒ (237分)	15:30 少女は夜明けに夢をみる (76分)	
	優秀映画鑑賞推進事業 *1		12 月・祝	10:30 東京流れ者 (82分)	14:00 けんかえれじい (86分)
			13 火		[休館日]
			14 水	10:30 けんかえれじい (86分)	14:00 東京流れ者 (82分)
			15 木	10:30 独立愚連隊 (108分)	14:00 日本のいちばん長い日 (157分)
	川喜多かしこと “映画の仲間” エキブ・ド・シネマの半世紀 チケット発売:7月13日(土)		16 金	10:30 日本のいちばん長い日 (157分)	14:00 独立愚連隊(108分)+上映解説
20 火			14:00 惑星ソラリス (160分)		
21 水			14:00 惑星ソラリス (160分)		
22 木			13:30 ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス (205分)		
23 金			13:30 ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス (205分)		
24 土		10:00 惑星ソラリス (160分)	13:30 ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス (205分)		
9月	関連上映	25 日	10:00 惑星ソラリス (160分)	13:30 ニューヨーク公共図書館 エクス・リプリス (205分)	
	川喜多かしこと “映画の仲間” エキブ・ド・シネマの半世紀 チケット発売:8月10日(土)	3 火	10:30 眠る男 (103分)	14:00 伽椰子のために (117分)	
		4 水	10:30 伽椰子のために (117分)	14:00 眠る男 (103分)	
		5 木	10:30 眠る男 (103分)	14:00 伽椰子のために (117分)	
		6 金	10:30 伽椰子のために (117分)	14:00 眠る男 (103分)	
		7 土	10:30 眠る男 (103分)	13:30 特別上映 伽椰子のために(117分)+トークイベント *3	
		8 日	10:30 伽椰子のために (117分)	14:00 眠る男 (103分)	
		16 月・祝	10:30 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	14:00 大樹のうた (98分)	
		17 火		[休館日]	
		18 水		14:00 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	
		19 木		14:00 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	
		20 金	10:30 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	14:00 大樹のうた (98分)	
		21 土	10:30 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	14:00 大樹のうた (98分)	
		22 日・祝	10:30 大樹のうた (98分)	14:00 歩いて見た世界 ブルース・チャットウィンの足跡 (85分)	
		23 月・振	10:30 奇跡 (126分)	14:00 奇跡 (126分)+上映解説	
		24 火		[休館日]	
		25 水		14:00 奇跡 (126分)	
		26 木		14:00 奇跡 (126分)	
		27 金	10:30 奇跡 (126分)	14:00 奇跡 (126分)	
		28 土	10:30 ピロスマニ (86分)	14:00 ピロスマニ (86分)	
29 日	10:30 ピロスマニ (86分)	14:00 ピロスマニ (86分)			

ギャラリートーク／上映解説(要企画展観覧料/各40分)  
展示の見どころ／上映作品について、学芸員が解説します。

**ギャラリートーク** 7.24(水)・8.21(水)・9.18(水)各日13:00～  
※終了後、(希望者のみ)旧和辻邸見学ツアーあり(約10分)

**上映解説** 8.16(金)・9.23(月・振)各日午後の上映終了後

\*1:優秀映画鑑賞推進事業は 一般500円 小・中学生250円  
\*2:トークゲスト 石井淑子さん×はらだたけひでさん  
\*3:トークゲスト 小栗康平監督

## Kamakura City Kawakita Film Museum 鎌倉市川喜多映画記念館

TEL 0467-23-2500

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12  
HP <https://kamakura-kawakita.org>

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日 月曜日(7月15日、8月12日、9月16日、23日は開館)、  
7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)、24日(火)

主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合わせください。



### 2024年度「友の会」会員募集中

年会費:2500円

#### 会員特典

- \*映画チケットの電話予約が可能
- \*1000円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント
- \*企画展観覧料がいつでも無料
- \*展覧会やイベントのチラシを自宅に郵送
- \*会員さま向けのイベントの実施

記念館窓口、郵便振替、HPでのお申込みを受け付けています。詳しくはお問合わせください。